

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

●本体、外側、内側のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジ・フキンなどで洗った後、水ですすいでください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

●せんユニット

せんユニットは丸洗いができます。スポンジで洗った後、水ですすいでください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

●バックキン

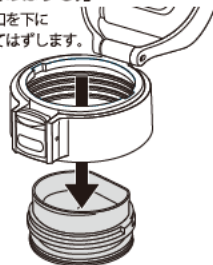
バックキンをせんやふたから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

お手入れ上の注意

- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。(水滴の跡が残ったり、サビの原因となります。)
- シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾などは使用しないでください。(キズやサビ、破損の原因になります。)
- 本体やせんユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などによるお手入れはしないでください。(変形や漏れの原因になります。)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。(サビ、破損の原因になります。)
- 本体・せんユニットはつけ置き洗いはしないでください。
- せんユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 長時間で使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

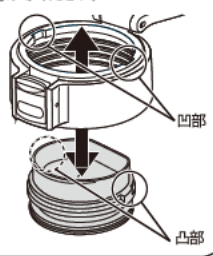
飲み口のはずし方

飲み口を下に押しはずします。



飲み口の取り付け方

凹凸を合わせて確実に取り付けてください。



ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

●サビのような赤い斑点ができた場合

水分に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

●ザラザラしたものが付着した場合

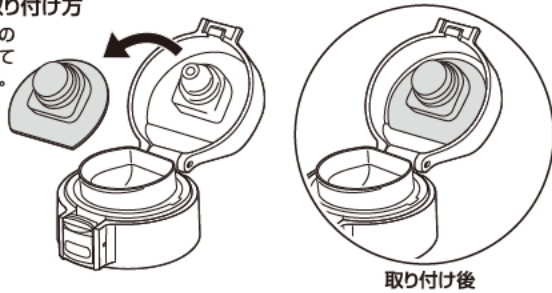
水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、せんユニットを取り付けず、3時間程放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

バックキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。お手入れなどで、ふたバックキンやせんバックキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

●ふたバックキンの取り付け方

ふたバックキンをふたの部分の形状に合わせて取り付けてください。



取り付け後

●せんバックキンの取り付け方

せんの飲み口を下にしてバックキンをはめ込んでください。指で押し、浮いていないことを確かめてください。



取り付け後

バックキンは消耗品です。約1年間を目安にご確認ください。
消耗のある場合は、品番をお確かめのうえ、輸入元までお問い合わせください。

交換部品の
お求めは
右記あてに
お願いします。

輸入元：株式会社 アトラス

〒192-0906 東京都八王子市北野町549-1 第2石坂ビル
TEL.042-660-8870 <https://www.atlas-scm.jp/>

受付時間 / 9:00 ▶ 18:00 月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

取扱説明書

Café  ink
カフェリンク

カレント・コーヒーボトル

CURRENT
Coffee Bottle

ACW-352

せんユニット

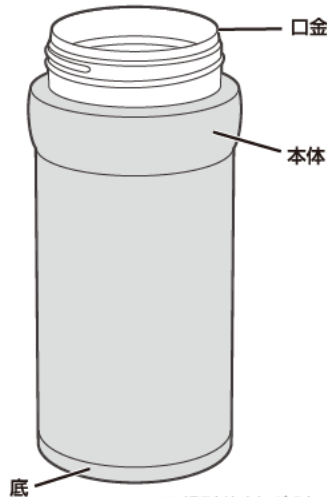
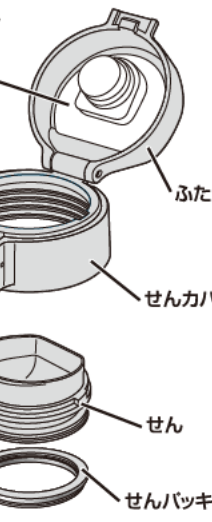
ふたバックキン

ボタン

飲み口

せん

せんバックキン



※イラストはイメージです。

このたびは、当社のワンタッチカフェボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みになり、正しく安全にご使用くださいますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったとき役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、使用しないでください。

ご使用方法

1. センユニットをはずす



2. 飲みものを入れる

- *あらかじめ、本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度置き、予熱(予冷)してから入れ替えると保温(保冷)に効果的です。
- *飲みものの量は、右図の位置までにしてください。入れすぎるとセンユニットを閉めたときに中身があふれる場合があります。入れすぎた場合は、捨ててから、センユニットを開めてください。
- *熱い飲みものを入れた直後は、数十秒置いてからセンユニットを取り付けてください。



3. センユニットを閉める

- *熱い飲みものを入れた場合、噴き出ることがあります。絶対に振るなどしないでください。
- *圧抜きをする場合やセンユニットが開きにくくなった場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた状態で布(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。



4. ふたを開けて飲みものを飲む

- ①本体を立てた状態でロックボタンを上へスライドさせる。
- ②ロックボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。



5. 飲み終わったら

- ①飲み終わったら、本体を立てふたを閉める。
- ②ロックボタンを下げて、ロックする。



品質表示	
品名	ステンレス製携帯用魔法瓶
品番	ACW-352
容量	0.35L
保温効力	1時間 84度以上
	6時間 57度以上

*保温効力とは室温20度±2度において製品に湯を口金の下端まで入れ、縦置きにした状態で熱湯95度±1度になったとき、ふた・センをして1時間及び6時間放置した後のその湯の温度です。

材料の種類	
内びん	ステンレス鋼
胴部	ステンレス鋼
ふた・セン	ポリプロピレン
ロックボタン	ABS樹脂、POM樹脂
パッキン	シリコーン

ご使用上の注意

- 飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。(破損や事故の原因になります。)
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。また、いたずらには注意してください。(やけど・ケガなどのおそれがあります。)
- 絶対に修理・分解・改造は起こさないでください。(破損や事故の原因になります。)
- 熱い飲みものを入れた場合は注意して飲んでください。(やけどのおそれがあります。断熱効果により、熱い飲みものを入れても外側は熱くなりません。)
- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また、直射日光の当たる場所で使用しないでください。(変形や変色の原因になります。)
- 電子レンジで加熱しないでください。(ケガや事故・破損の原因になります。)
- 冷凍庫に入れないでください。(飲みものが溢れたり、破損や事故の原因になります。)
- 倒したり、落としたり、ぶつけたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。(ぶつけたり、強い衝撃を与えると表面がへこみ、保温・保冷効果が低下することがあります。)
- 飲みものの量は、取扱説明書2ページ右下の図を参考にしてください。(入れすぎるとセンユニットを閉めたときにあふれて、やけどやものを汚す原因になります。)
- 熱いやかんなどを口金にあてないでください。(転倒して、やけど・ケガなどの危険があります。またキズや変形の原因になります。)
- ふたパッキン、センパッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。
- 傾けた状態、または傾など近づけた状態でふたを開けないでください。
- 飲み終わったら、本体を立て、ふたを確実に閉めてください。ロックを確実に閉め、本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。
- 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。
- 熱い飲みものを入れたときは本体を振らないでください。
- バッグなどに入れる場合は、事前に漏れがないことを確認したうえで本体を縦置きに入れてください。また、携帯電話・デジタルカメラ・パソコンなどの精密機械は、本製品と一緒にしないでください。
- 製品の構造上、温度が高いときにふた・センに水滴がつく場合があります。ご注意ください。
- 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。(腐敗や変質の原因になります。)
- お茶などは早めにお飲みください。(長時間保存するとお茶の色や味が変わります。)
- 大きな氷を入れる場合は押し込みます小さく砕いて入れてください。(キズやあふれる原因となります。)
- センユニットを持って運ばないでください。
- 運転しながらのご使用は非常に危険です。絶対におこなわないでください。
- 車中など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。
- 専用のドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度、サイズを確認してください。ホルダーの強度や固定が不十分だと、破損したりはずれて落下するおそれがあります。
- 缶ジュース・缶ビールなどを容器に入れないでください。
- アルコール類は入れないでください。
- 次の物は絶対に入れないでください。
 - *ドライアイスや炭酸飲料などは入れないでください。(内圧があがり、内容物が吹き出るおそれがあります。)
 - *牛乳・乳製品・果汁など(腐敗や変質のおそれがあります。)
 - *味噌汁・スープなどの塩分を含んだもの(サビのおそれがあります。)
 - *果物・お茶の葉など。(つまる、漏れるなどの原因となるおそれがあります。)